

助産院開設後の課題と方向

産婦人科医不在の対応

- 産科医療の確保対策
- 連携協力医と助産師の確保
- モバイルCTGの活用
- 周産期情報ネットワークの構築(岩手県検証中)

助産院の運営

- 助産師の活用⇒運営費の増大
- 嘱託・連携協力医療機関の拡充
- モバイルCTGの安定運用と普及
- 妊婦健診の徹底(主治医との連携)
- 健診等の無料化検証(負担軽減でお産を支援)

産科医療の環境整備

「赤ちゃんを産みたい・・・」の地域づくり
市民協働で少子化対策

少子化対策・子育て支援総合計画「遼野わがすくすくプラン」

「地域事情に柔軟に対処できる総合支援策として」
産科医療過疎地域への新たな支援制度創設を